

令和3年大網白里市議会第3回定例会総務常任委員会会議録

日時 令和3年9月30日（木曜日）午前10時13分開会

場所 本庁舎 3階 第一会議室

出席委員（6名）

黒須俊隆	委員長	田辺正弘	副委員長
土屋忠和	委員	上代和利	委員
小倉利昭	委員	蛭田公二郎	委員

出席説明員

財政課長	古内衛	財政課副課長	茂田栄治
財政課主査 兼財政班長	久保崇	財政課副主査	加藤岡大祐

事務局職員出席者

議会事務局長	岡部一男	主査	内山悟
主任書記	鶴岡甚幸		

議事日程

第1 開会

第2 委員長挨拶

第3 協議事項

(1) 付託議案の審査

・議案第11号 令和3年度大網白里市一般会計補正予算（財政課）

第4 その他

第5 閉会

◎開会の宣告

○副委員長（田辺正弘副委員長） ただいまから総務常任委員会を開催いたします。

（午前10時13分）

◎委員長挨拶

○副委員長（田辺正弘副委員長） 最初に、委員長から挨拶をお願いいたします。

○委員長（黒須俊隆委員長） 皆様、ご苦労さまです。

今回、当常任委員会で協議する内容は、ただいま本会議で上程された補正予算案1件でございます。慎重な審査をよろしくお願いいたします。

○副委員長（田辺正弘副委員長） ありがとうございます。

続きまして、協議事項に入らせていただきます。

委員長、進行をお願いいたします。

○委員長（黒須俊隆委員長） 傍聴希望者はありますか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○委員長（黒須俊隆委員長） ないようですので、次に進みます。

本日の出席委員は6名です。委員会条例第14条の規定による定足数に達しておりますので、会議は成立いたします。

◎議案第11号 令和3年度大網白里市一般会計補正予算

○委員長（黒須俊隆委員長） これより付託議案の審査を行います。

まず、担当課から付託議案についての説明を受け、説明終了後に付託議案の採決を行います。

それでは、議案第11号 令和3年度大網白里市一般会計補正予算を議題といたします。
財政課を入室させてください。

（財政課 入室）

○委員長（黒須俊隆委員長） 財政課の皆さん、ご苦労さまです。

ただいまから、当常任委員会に付託となった議案について審査を行います。

時間の関係もありますので、説明は簡潔明瞭をお願いいたします。

なお、説明終了後に各委員から質問等があった際は、挙手の上、委員長の許可を求めてから速やかにお答えください。

はじめに、課長から職員の紹介をしていただき、続けて議案の説明をお願いします。

はい、課長。

○古内 衛財政課長 財政課でございます。

本日の出席職員を紹介させていただきます。

まずは、私の左側が副課長の茂田でございます。

○茂田栄治財政課副課長 よろしく申し上げます。

○古内 衛財政課長 次に、後列ですが、皆様から向かって左側が、主査で財政班長の久保でございます。

○久保 崇財政課主査兼財政班長 よろしく申し上げます。

○古内 衛財政課長 そして、その隣が財政班副主査の加藤岡でございます。

○加藤岡大祐財政課副主査 よろしく申し上げます。

○古内 衛財政課長 最後に私、課長の古内でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

以後は着座にて失礼いたします。

それでは、本日の全員協議会でお配りした資料、9月補正予算案（その3）の概要をご覧ください。

議案第11号 一般会計補正予算（第5号）について、改めてご説明申し上げます。

本案は、歳入歳出予算にそれぞれ1億5,175万円を追加し、補正後の予算総額を155億325万3,000円にしようとするものでございます。

なお、ふるさと応援寄附金関連予算については、今定例会における議案第1号 一般会計補正予算（第3号）の中で、歳入では、一般寄附金につき1億1,000万円、また、歳出では、ふるさと応援寄附金促進費5,500万円に加え、総務事務費450万円をそれぞれ増額する内容で既にご審議をいただいているところですが、寄附金額が想定を上回り、大幅に増加していることから、今般、改めて補正予算を編成し、所要額の追加計上をお願いするものでございます。

それでは、はじめに歳出の内容についてご説明申し上げます。

その1つ目が、ふるさと応援寄附金促進費で、補正額は1億2,500万円の増額となります。

ふるさと応援寄附金に係る一昨日、今月28日時点での寄附実績は、前年同月比9.84倍とな

る2億3,000万円あまりと大変好調にあり、今年度末においては、現時点の予算見込額2億7,000万円に対して、下段、4、その他（歳入）のうち、（1）一般寄附金として記載のとおり、さらに2億5,000万円を上乗せし、総額を5億2,000万円と見込んでいるところです。

なお、当該経費は返礼品代や事務委託料等が主な内訳となりますが、今回増収分2億5,000万円の2分の1相当額を計上するものであり、財源は全額一般財源となります。

2つ目は、地場産品販路拡大支援事業で、補正額は2,500万円の増額となります。

当該事業については、地場産品の販売促進を図るため、販路の確保と拡大につき支援を行うこととし、去る6月補正予算において、通信販売に係る品代及び配送料につき、3,000円以上の品に対して、配送1件当たり1,000円の一部費用助成を実施することで、既にご承認をいただいたところです。

そして、この効果がふるさと納税の活性化にも寄与し、寄附金額の大幅な増収につながったものと認識しております。

なお、一昨日、今月28日時点の取扱件数は6,922件であり、地方創生臨時交付金の活用策として8月に事業を開始して以降、これまでに予算額1,000万円のうち約7割が執行済みという状況にあります。今後大きな成果が期待できることから、寄附金額の増収を踏まえた中で事業を継続していきたいと考えているところです。

今年度の助成件数については、新たに2万5,000件分を追加し、年間3万4,900件と見込んでおり、財源は全額一般財源となります。

3つ目は、総務事務費につき、補正額は175万円の増額となります。

ふるさと応援寄附金の取扱件数増加に伴い、礼状や受領証明書等の発送数が増加していることから、通信運搬費を増額するもので、財源は全額一般財源となります。

以上が、歳出の内容でございます。

続いて、その他（歳入）につき、ご説明申し上げます。

はじめに、（1）の一般寄附金ですが、これまで申し上げてきたとおり、ふるさと応援寄附金が想定を上回り大幅に増加していることから、2億5,000万円を追加計上するものとなります。

なお、当該歳入については、今定例会に付議されている議案第1号 一般会計補正予算（第3号）の中で、7月末時点の状況等に応じて追加計上したところですが、8月以降は、返礼品の主力である新米の出品をはじめ、地場産品販路拡大支援事業による寄附金額の見直しといった効果も相まって、今年8月と9月の2か月だけでも、寄附金の受入額は1億

2,200万円を超える見込みです。

そして、こうした9月末時点の状況等を踏まえ、過去の動向や今後の歳末商戦等を考慮し、再度検討したところ、今年度の寄附金額については、総額で5億2,000万円と見込み、大幅な上方修正を行うことといたしました。

最後に(2)の財政調整基金繰入金ですが、こちらは今回の財源調整として、財政調整基金繰入金を9,825万円減額するものとなります。

以上が、議案第11号の概要でございます。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○委員長(黒須俊隆委員長) ただいま説明がありました内容について、委員の皆様、ご質問等があればお願いいたします。

蛭田委員。

○蛭田公二郎委員 大変な勢いで寄附額が増えておりますね。去年の寄附額は約1億2,000万円、今年度、5億2,000万円の見込みは去年実績の4倍以上ということになるんですけども、それで寄附額と実際に本市の税収にどれだけということをちょっとお伺いしたいんですけども、去年は1億2,000万円、約半分は促進費ですよ、6,000万円、税務課に伺ったら、去年、令和2年度でふるさと納税に係る減収分ですね、プラスマイナスで減収分が4,400万円というふうに、これは決算委員会でそういう話が出たんですね。

そうすると、相殺すると、1億2,000万円の寄附額に対して、ざっと1,500万円前後の税収ということになると思うんですけども、今回もそういうことで、これまでの実績を見た上で、どれだけの税の減収分なども考えたら、去年と同じぐらいの比率で、おそらく寄附額10数パーセントぐらいの増収になっていると思うんですけども、そういうふうに考えていいのかどうか、ここはなかなか分からない部分もあると思うんですけども、実際に経費として、少なくとも半分経費がかかったり、あるいはそれに係る減税をするわけだから、減税分のマイナス分もあるわけだから、それらを見込んで5億2,000万円の寄附があったところに、大体去年と同じぐらいの見込みがあると見込んでいいのかどうか、分かれば教えていただければと。

○委員長(黒須俊隆委員長) 課長。

○古内 衛財政課長 昨年度と比較いたしまして、今年度につきましては大幅に本市へのふるさと納税寄附金額が増加しているのは事実です。それに対して、本市の住民が他の自治体に対してふるさと納税をどのようにしているかというのは、ちょっと最終的な申告等で確認せ

ざるを得ませんので、そういった状況までの分析はしていないのが実情でございます。

あとは、市から相当額がほかの自治体へ寄附がされる関係ですけれども、その補填について、外の自治体に流れた分の補填といたしましては交付税算入がございますので、そういったものも加味できるのかなという気がいたしますので、実質上のそういった相殺額というのは、まだちょっと分からないのが実際のところですよ。

以上です。

○委員長（黒須俊隆委員長） ほかにございますでしょうか。

田辺委員。

○副委員長（田辺正弘副委員長） こうなりますと、財調の残高は幾らになるんですか。

○委員長（黒須俊隆委員長） 久保さん。

○久保 崇財政課主査兼財政班長 今現在で9億程度まで回復しています。

○委員長（黒須俊隆委員長） ほかにございますでしょうか。

土屋委員。

○土屋忠和委員 この件に関しまして、一般財源から直接的に歳出して、寄附金も一般財源、直接に歳入になるわけなので、今後の助成の見込みの数や、寄附の見込額の設定が非常に大事だと思うので、今後も、寄附見込額、今回、実際つけておりますが、その部分のところを査定を気をつけていただきたいなということを一言要望します。

○委員長（黒須俊隆委員長） ほかにございますでしょうか。

ちょっと確認で聞きたいんですけども、もともとこの最終日にこれ補正予算を出す予定だったんですか。

○古内 衛財政課長 経緯を申し上げますと、当初は9月補正予算で、実際12月補正まではしのげるのかなという認識でございました。しかしながら、先ほども申し上げましたけれども、新米の影響ですとか、あと、販路拡大による設定価格の見直しもありますけれども、それに加えて、新米を出したところ、だいぶ好評で、それぞれのサイト等でも上位ランキングに上がるようになっていきます。なので、そういったものがあって、非常に納付額が増えたのだと実感しております。

そういったことを考えますと、先ほども申し上げましたけれども、これまでの動向ですとか、今後の年末とかを考えますと、12月までに歳出に要する費用が賄えない可能性が出てきましたので、これを機に補正予算を編成したいと考えたところです。

以上です。

○委員長（黒須俊隆委員長） あと、2番目の地場産品販路拡大支援事業、これ、2万5,000件が補正後3万4,900件になるということで、これ、補正後の予算としては3,490万になるんですか。

○古内 衛財政課長 前回、6月補正で計上した分は990万円に事務費10万円を加えて、1,000万円を予算計上してございます、こちらの事業については、それで、これに今回の2,500万円を加えまして、事業の予算額自体はトータルで3,500万円という計算になります。
以上です。

○委員長（黒須俊隆委員長） 当初予算ではついていなかったわけですね。

○古内 衛財政課長 当初はついていません。それで6月補正でこちらの事業費については補正予算で計上したところです。

○委員長（黒須俊隆委員長） この事業なんですけれども、トータルで3万4,900件を見込んでいる、現時点で2万5,000、違うな、9月28日で6,922件を把握しているということなんですけれども、これ、実際の事業者自身は何事業者なんでしょうか。それで、具体的にどんな内容の事業者なんだろうね。

○茂田栄治財政課副課長 こちら、地場産品の販路拡大を使った事業者につきましては、現在認定しているところ8事業者ございます。そして、この8事業者がそれぞれいろいろと品目はございますが、53品を今出しているところで、そちらを通販サイト、またはふるさと納税で活用しているところでございます。

主な内容なんですけれども、主な品目なんですけれども、コーヒーの豆ですとか、お茶、お米、ピーナッツ、あと、なめろうというところも新規参入してございます。あと、ハマグリですとか、ながらみなんかもございます。

以上でございます。

○委員長（黒須俊隆委員長） これ、大変いい事業というか、いい事業というのは、事業者にとっていい事業という意味ですよ。本市にとっては、ふるさと納税にも寄与しているということで、そういう意味ではいい事業なんだろうと思いますけれども、事業者にとって大変有利な事業だと思うんですけれども、意外と8事業者しかないんですね。これの宣伝みたいなものというのはどうやっているんですか。商工会とかを通じてやっているんですか。

○古内 衛財政課長 委員長おっしゃるとおり、商工会等を通じてアナウンスをしているところでございます。

○委員長（黒須俊隆委員長） いい事業だから、いい事業な分、すごくこれを積極的に利用で

きている事業者というのは、税金からかなりそういう有利なものをもらっているわけじゃないですか。だから、広く商工会に限らず宣伝して、積極的に事業者が新たな商品を開発してくれば、本市の商業の発展にもつながると思うので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

あと、最後、総務事務費は450万に175万を足して625万になったということですか。それは当初予算からあったんですか。

○古内 衛財政課長 当初予算が総務事務費の郵送代として一定の予算額があったんですけども、こちらのふるさと納税の取扱件数が増えた影響で、9月補正のその1で郵送代を450万円、取りあえず一旦追加させていただきまして、さらにまた足りない部分が出てきそうな勢いでございますので、このたび175万円を追加補正したところでございます。

以上です。

○委員長（黒須俊隆委員長） 当初予算と合わせて、補正後幾らになるんですか。

○茂田栄治財政課副課長 1,125万円でございます。

○委員長（黒須俊隆委員長） 当初予算で幾らだったの、500万ぐらいですか。

○茂田栄治財政課副課長 当初予算で500万でございます。

○委員長（黒須俊隆委員長） 当初予算が500万ですね。450万と175万で1,125万、分かりました。

委員の皆様、ほかに質問したいこと、大丈夫ですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（黒須俊隆委員長） それでは、ないようですので、財政課の皆さん、ご苦労さまでした。退室していただいて結構です。

（財政課 退室）

○委員長（黒須俊隆委員長） これより議案の取りまとめを行います。

議案第11号 令和3年度大網白里市一般会計補正予算について、ご意見及び討論等ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（黒須俊隆委員長） それでは、付託議案に対する審査結果の採決を行います。

議案第11号について、原案のとおり決することに賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○委員長（黒須俊隆委員長） 賛成総員。

よって、議案第11号は原案のとおり可決いたしました。

以上で当委員会に付託された議案の審査を終了いたします。

次に、その他ですが、何かございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(黒須俊隆委員長) 局長、これ、最終日の補正予算とかというのも、いつもいつも付託していたんですけど。本会議で直接やっちゃうということはなかったんですけど。

○岡部一男議会事務局長 最近ではないんですけども、最終日に出てくるのは本当に珍しい例なんです。今年の1月にも文教福祉常任委員会に付託して、最終日に付託したというのもありましたし、まれな例でそういうのは出てきます。よく人事案件というのが出てくるんですけども、それは先例で委員会にかけないというふうになっているのであれですけども、そのほかについては、普通どおりにやると、やっぱり委員会にかけて、これを委員長報告の中に追加で入れさせていただいてという運びになります。

○委員長(黒須俊隆委員長) 分かりました。

それでは、協議事項とその他を終了したいと思います。

◎閉会の宣告

○副委員長(田辺正弘副委員長) 以上をもちまして総務常任委員会を閉会いたします。

皆様、お疲れさまでした。

(午前10時35分)